

■ 東武鉄道 (1)

年月日	事項
1895 明28. 4. 6	東武鉄道創立願提出 東京市本所区から栃木県足利町まで83.7kmの鉄道敷設申請、発起人、川崎八右衛門他11人
1896 29. 10. 16	創業総会を開催
1897 30. 9. 3	設立本免許状が下付される
30. 11. 1	設立登記（後日この日を創立記念日とした）
1899 32. 8. 27	北千住～久喜間39.9km営業開始
1902 35. 4. 1	吾妻橋（現とうきょうスカイツリー）～北千住間6.3km営業開始
1904 37. 4. 5	曳舟～亀戸間3.4km開通（亀戸線全通）
1905 38. 10. 8	本社を東京市麹町区八重洲1-1から本所区横網町1-20に移す
1910 43. 7. 13	新伊勢崎～伊勢崎間1.1km開通（伊勢崎線113.1km全通）
1911 44. 3. 12	本社を本所区小梅瓦町49番地に移す
44. 11. 14	東上鉄道(株)創立総会を開催
1914 大3. 5. 1	東上鉄道(株)池袋～田面沢（現川越市～霞ヶ関間に位置）間33.5km営業開始
3. 10. 16	佐野町（現佐野市）～佐野間2.5km開通（佐野線全通）
1920 9. 7. 27	東上鉄道(株)との合併を登記
1922 11. 4. 5	北総鉄道(株)創立総会を開催
1923 12. 9. 1	関東大震災により被害を受ける
1924 13. 10. 1	浅草（現とうきょうスカイツリー）～西新井間10.1kmに電車運転開始
1925 14. 7. 10	小川町～寄居間10.8km開通（東上線全通）
1927 昭2. 10. 1	館林～伊勢崎間39.9kmを電化、浅草～伊勢崎間113.3kmの電化完了
1929 4. 10. 1	杉戸（現東武動物公園）～東武日光間94.5km全線開通
1930 5. 10. 29	特別車座席使用料を制定（1929.12浅草～東武日光間に展望車を運転）
1931 6. 5. 25	浅草雷門（現浅草）～業平橋（現とうきょうスカイツリー）間1.1km開通。浅草駅を業平橋駅に改称
6. 8. 11	新栃木～東武宇都宮間24.4km開通（宇都宮線全通）
6. 11. 1	浅草駅ビル（1931.5.24竣工）がオープン（同日、浅草松屋オープン）
6. 12. 20	西板線（現在の大師線）西新井～大師前間1.1km開通
1932 7. 3. 18	相老～新大間々（現赤城）間3.4km開通（桐生線全通）
1933 8. 10. 27	傍系会社として毛武自動車(株)を設立登記 [1936.9.8社名を東武自動車(株)と改称]
1934 9. 4. 1	東武鉄道(株)直営の乗合自動車営業を川越地区で開始（自動車事業のはじまり）
1936 11. 秋	武蔵常盤（現ときわ台）駅前宅地分譲開始
1938 13. 4. 17	旧本社ビルが完成
1939 14. 6. 1	東武鉄道(株)経営の自動車事業（川越地区）を一括して東武自動車(株)へ譲渡
1941 16. 6. 1	東小泉～太田間6.4km開通（小泉線全通）
1943 18. 5. 1	下野電気鉄道(株)を買収（現鬼怒川線）
18. 7. 1	越生鉄道(株)を買収（現越生線）
1944 19. 3. 1	総武鉄道(株)と合併（現野田線 1944.3.31登記）
1947 22. 6. 1	東武鉄道(株)が東武自動車(株)を合併（1947.5.31登記）
22. 9.	キャサリン台風により414.9kmが不通（1947.10.27全線復旧）
1948 23. 8. 6	急行料金を設定
1949 24. 2. 1	「華厳号」・「鬼怒号」特急電車を運転開始、毎日1往復、土・日曜日2往復
24. 5. 16	東京証券取引所に上場
1951 26. 9. 22	5700系ロマンスカーが就役
1952 27. 4.	特急列車を自由定員制から座席指定制に変更

■ 東武鉄道 (2)

年月日	事項
1953 昭28. 10. 26	伊勢崎線急行料金を制定
28. 11. 1	浅草～新桐生間に急行運転開始、毎日1往復
1954 29. 7. 19	浅草駅に初の自動券売機を設置（機械式）
1955 30. 1. 4	第1次5か年計画の構想を発表
1956 31. 4. 1	急行料金を特急料金と改称 1700系ロマンスカー（白帯）が就役
31. 5. 25	自動踏切遮断機を亀戸線で初使用
31. 8. 1	ラッシュ時に東上線で婦人専用電車の運転を開始
31. 10. 6	初の記念乗車券を東上線で発売（川越大師喜多院落慶記念）
31. 10.	電気式自動券売機を設置（浅草駅）
1958 33. 4. 20	マイクロ無線装置使用開始（本社～杉戸・新栃木間）
1959 34. 4. 1	東上線で蒸気機関車の運転を廃止
34. 10. 1	越生線にCTC装置を設置
34. 11. 10	宇都宮駅ビルが完成（1959.11.28東武宇都宮百貨店オープン）
34. 12.	1700系ロマンスカーに冷房装置を搭載（当社初の冷房車登場）
1960 35. 10. 9	1720系デラックスロマンスカーが就役
35. 11. 11	東京都内ハイヤー営業開始（1960.7.13事業免許15台）
1961 36. 10. 2	東京証券取引所市場第一部に指定
1962 37. 4. 1	定年を55歳から56歳に延長（1976.4.1定年を57歳に延長）
37. 5. 25	池袋東武会館が完成（1962.5.29池袋東武百貨店オープン）
37. 5. 31	伊勢崎線、営団（現東京メトロ）日比谷線（北越谷～人形町間）で相互直通運転を開始
37. 8. 22	当社初のマルチプルタイタンパーを東上線に導入
37. 9. 22	特急スピードアップ（時速110km運転 浅草～東武日光間106分に）
1963 38. 4. 17	一般車両の塗色変更（ロイヤルベージュとインターナショナルオレンジのツートンカラー）を決定
38. 11. 1	8000型通勤車が就役
1964 39. 3. 19	デラックスロマンスカーにスチュワーデス登場
39. 5. 31	座席指定料金設定
	日光線に6000型使用の快速列車を運転開始
39. 8. 29	営団（現東京メトロ）日比谷線（北千住～中目黒間20.3km）全通 中目黒への乗り入れ開始
39. 11. 1	「記念物」を初指定（当社設立時の文書など17点）
1966 41. 3. 16	初の乗合ワンマンバス運行開始（松原団地・豊四季団地循環）
41. 7. 1	蒸気機関車の運転を全廃（貨物線の全線電化完成）
41. 9. 1	日比谷線直通列車、運転区間を北春日部まで延長
1967 42. 6. 27	踏切支障報知装置を初設置
1968 43. 4. 1	ATS一部使用開始
43. 11. 1	当社初の賃貸マンション「竹の塚ステーションビル」が完成
43. 12. 28	マイクロ無線設備全線取付完了
1969 44. 3. 1	社是・信条を制定
44. 6. 6	北春日部に東武鉄道研修所が完成
44. 9. 20	急行りょうもう1800系電車が就役
44. 10. 31	電車保有車両数が1,000両を突破
1970 45. 4. 15	旧本社社屋（新館）が完成
45. 10. 1	本線15変電所を遠隔集中制御開始

■ 東武鉄道 (3)

年月日	事項
1971 昭46. 3. 1	東上線急行運転を開始（行楽急行は特急に名称統一）
46. 3. 15	TSP型ATSを全車両に取付完了
46. 4. 29	整理券方式の多区間ワンマンバスを野田営業所管内で初運行
46. 6. 17	当社初の分譲マンション「東武西新井サンライトマンション」が完成
1972 47. 7. 11	通勤冷房車8000型が初登場
47. 8. 15	初の自動改札機を西新井駅に導入
1973 48. 6. 27	初の転換社債50億円を発行
48. 7. 20	日光線全線複線化、30年ぶりに復活（1942戦時軍需のため合戦場以北が単線にされていた）
48. 9. 1	本線全変電所の遠隔集中制御開始。日光線8駅、鬼怒川線3駅を無人化
1974 49. 6	一般車両の塗色変更開始（セイジクリーム）
49. 7. 2	関東民鉄初の複々線化、北千住～竹ノ塚間6.3kmが完成
49. 7. 23	特急スピードアップ（浅草～東武日光間101分）
1975 50. 6. 11	週休の隔週2日制実施
50. 12. 20	電車内に優先席を設置
1976 51. 5. 11	踏切保安設備集中監視装置完成
1977 52. 10. 5	船橋駅ビルが完成（1977.10.7 船橋東武百貨店オープン）
1978 53. 7. 28	初の連結決算を発表（東武鉄道、東武ストア、東武ホテル、共助商事〔現東武商事〕）
53. 8. 15	本線の定期・回数乗車券発行業務を集約化（東上線は1978.9.12から）
1979 54. 3. 10	第二東武館が完成
54. 11. 19	柏駅ビルが完成（柏高島屋ローズタウン）
1980 55. 2. 14	特急・急行列車座席予約発売オンラインシステムが完成
55. 9. 1	60歳定年延長段階的に実施（1986.4.1 完全実施）
1981 56. 3. 16	杉戸駅を東武動物公園駅に改称、営団（現東京メトロ）日比谷線直通区間を同駅まで延長
56. 3. 28	東武動物公園がオープン（当社創立80周年事業）
56. 4. 29	乗合バスワンマン化率100%に
56. 7. 1	東上線踏切集中監視業務を志木から池袋へ移行
56. 9. 22	東上線全変電所を集中遠隔制御化
56. 12. 28	有楽町線直通用9000型通勤車が就役
1983 58. 4. 1	適格退職年金制度を実施
58. 12. 22	10000型通勤車が就役
1984 59. 2. 21	手小荷物取扱業務を全廃
59. 5. 10	民鉄初のワラント債1億スイスフランを発行
59. 9. 3	「東武スイミングスクールかねがふち」がオープン（スポーツ事業に本格参入）
59. 11. 12	1株あたり0.05株を無償増資
1985 60. 6. 3	乗合バスのボディカラーを変更開始
60. 10	一般車両の塗色変更（ジャスミンホワイトにロイヤルブルーとリフレッシュブルーのストライプ）
60. 10. 1	スイスフラン立て転換社債5000万スイスフランを発行
60. 11. 15	6000型が車体を一新し、6050型として登場
1986 61. 4. 28	国内分離型ワラント債100億円（民鉄初）と1億スイスフランを発行
61. 5. 12	1株あたり0.05株を無償増資
61. 7. 1	東武動物公園内に東武乗馬クラブ&クレインがオープン

■ 東武鉄道 (4)

年月日	事項
1986 昭61. 10. 9	野岩鉄道会津鬼怒川線開業に伴い、浅草～会津高原（現会津高原尾瀬口）間175.3kmの相互直通運転開始
61. 10. 21	東上線の貨物営業を全廃
61. 12. 27	スキー専用夜行スノーパル23：50の運転を開始
1987 62. 8. 25	和光市～志木間5.3km複々線化使用開始。東上線と営団（現東京メトロ）有楽町線との相互直通運転開始（川越市～新富町間、1988.6.8 新木場まで延長）
62. 10. 2	銀座東武ホテルがオープン（当社創立90周年事業、2007.4.1「コートヤード・マリOTT銀座東武ホテル」に名称変更）
1988 63. 3. 1	座席予約オンラインシステムを東武トラベル（現東武トップツアーズ）、JTBのオンラインと直結
63. 3. 25	日比谷線直通用20000型通勤車が就役
63. 5. 18	特定都市鉄道整備積立金制度を導入した運賃改定を実施
63. 6. 1	トーポカード（プリペイドカード）を発行
63. 8. 9	竹ノ塚～草加間4.1kmの高架複々線が完成
63. 11. 11	浅草～東武宇都宮間に快速急行しもつけを新設（2006.3.18特急化 2020.6.5 廃止）
	1株あたり0.1株を無償増資
	東京～いわき間に高速バス運行開始（JRバス関東・常磐交通と共同運行）
1989 平 1. 4. 1	消費税導入に伴う運賃改定を実施
1. 4. 28	大宮～成田空港間的高速直通バス「ONライナー」を6社共同で運行開始
1. 5. 20	東向島駅構内に「交通と文化の東武博物館」をオープン（当社創立90周年事業）
1990 2. 3. 30	仙台国際ホテルの経営に参加
2. 9. 25	業平橋駅を改良し都営・京成線の押上駅と連絡（2003.3.18まで）
	押上う回乗車制度を導入（1997.3.31まで）
2. 6. 1	100系スーパーシアが就役（1991.9.1 全特急列車を100系スーパーシア化）
2. 10. 12	会津鉄道会津線の一部電化完成で浅草～会津田島間190.7kmの直通運転を開始
1991 3. 2. 1	急行りょうもうに200型が就役
3. 9. 26	宮の森カントリー倶楽部オープン
1992 4. 3. 1	自動改札機の本格導入を開始（本線2駅、東上線4駅）
4. 4. 11	年間休日104日制実施（週休2日制）
4. 6. 3	池袋東武会館（東武百貨店池袋店本館）とメトロポリタンプラザビル（同店プラザ館）を結ぶ「東武中央館」が完成 同.6.8 池袋西口に「メトロポリタンビル」完成
4. 9. 21	特急が関東民鉄初の120km/h運転を開始（浅草～東武日光間98分）
4. 10. 1	東上線全線で禁煙タイムを変更、池袋駅は終日禁煙に
4. 12. 1	野田線全車両の大型冷房車化完了
	本線で禁煙タイム変更と終日禁煙駅を新設、伊勢崎線急行の禁煙車を拡大
4. 12. 29	日比谷線直通用20050型通勤車（5扉車）が就役
1993 5. 4. 1	日光線特急・急行の禁煙車増設、一般列車の車内禁煙区間を全線に拡大
5. 4. 24	東武ワールドスクウェアがオープン（当社創立95周年事業）
5. 10. 16	本線で新電力システムを使用開始
1994 6. 4. 1	観光バスボディカラーをグループ統一デザインに変更
6. 5. 20	1株1.03株に分割
6. 12. 7	有楽町線新線池袋駅に乗り入れ

■ 東武鉄道 (5)

年月日	事項
1995 平7. 2. 11	大宮駅改良工事が完成
7. 8. 11	当社初の冷暖房付きホーム待合室を志木駅に設置
7. 9. 1	時差回数乗車券と土・休日割引回数乗車券発売開始 (2021.9.30普通回数券、時差回数券、土・休日割引回数券の発売終了)
7. 10. 26	草加駅高架下に専門店街「VARIE (ヴァリエ)」がオープン
1996 8. 7. 23	北千住駅の混雑緩和策として東武線は1階、日比谷線は3階で発着
1997 9. 3. 25	北千住駅改良工事が完成
	草加～越谷間6.9kmの高架複々線が完成
	半蔵門線直通用30000系通勤車が就役
	下り特急・急行列車が北千住駅に停車 (専用ホームを開設)
	全特急・急行列車の定期乗車券乗車を実施
9. 6. 8	錦糸町東武ホテルレバントがオープン (当社創立百周年事業、1998.6.1「東京マリオットホテル錦糸町東武」に、2006.4.1「東武ホテルレバント東京」に名称変更)
9. 9. 12	東武藤が丘カントリー倶楽部がオープン (当社創立百周年事業)
1998 10. 1. 30	小澤征爾&新日本フィルハーモニー特別演奏会を開催 (当社創立百周年記念)
10. 3. 26	新越谷駅に新越谷ビル「VARIE (ヴァリエ)」がオープン
10. 3. 31	社史ダイジェスト版「RAILWAY100」を発行
10. 4. 2	急行りょうもうに250型が就役
10. 4.	とーぶ鉄道モニター制度発足
10. 6. 26	百周年記念配当を第178期株主総会で決議
10. 7. 22	従業員持株制度を導入
10. 10. 30	東武鉄道百年史 (正史) を発行
10. 12. 1	ポイントカードシステム「東武キャッシュバッククラブ」を草加ヴァリエに導入
1999 11. 3. 1	ノンステップバス順次運行開始 (10両)
11. 3. 16	日光線特急の一部春日部駅停車を実施 (特急・急行料金の細分化)
	急行りょうもうの特急化
11. 9. 1	「東武キャッシュバッククラブ」を共通カード化
2000 12. 2. 25	志木駅東口駅ビル「st.トスカ」がオープン
12. 3. 1	低公害 (EGR/DPF搭載) バスを導入
12. 6. 29	ストック・オプション制度を導入
12. 10. 14	共通乗車カードシステム「パスネット」、「フェアスルーシステム」を導入
12. 11. 1	終日禁煙駅を拡大 (相老・赤城・新藤原を除き全線終日禁煙化)
2001 13. 3. 28	伊勢崎線越谷～北越谷間1.7kmの高架複々線が完成。北千住～北越谷間 (18.9km) を複々線化
	日光線特急の停車駅を新栃木から栃木に変更
13. 3. 28	日光線特急のすべてを春日部、新高徳に停車
	インターネット・携帯電話による日光線特急・急行の予約開始
13. 4. 1	東上線運行管理システムを使用開始
13. 10. 1	事業環境の変化に対応できる体制づくりに向け、東武バス(株)を設立
13. 11. 20	メール配信サービス「とぶとぶメール」を開始 (会員制総合情報サービス「102@club」の一環、2008.9サービス終了)
2002 14. 1. 23	中期経営計画「東武グループ再構築プラン」を策定
14. 3. 31	東武ワールドスクウェアの営業を東武ワールドスクウェア(株)に譲渡

■ 東武鉄道 (6)

年月日	事項
2002 平14. 4. 1	東武動物公園の営業を東武レジャー企画(株)に譲渡
14. 9. 30	バス事業本部を廃止 (2002.10.1より東武バス(株)が営業開始)
2003 15. 1. 1	「コンプライアンス基本方針」「環境理念」「環境方針」を制定
15. 2. 17	「102@運行情報メール」の配信サービスを開始
15. 3. 19	伊勢崎線・日光線、営団 (現東京メトロ) 半蔵門線、東急田園都市線 (南栗橋～押上～渋谷～中央林間間) で相互直通運転を開始
	特急・急行料金の値下げを実施、特急・急行列車内に車掌用携帯型端末機を導入
	浅草駅にステーションアテンダントを配置 (2003.3.18スベシアアテンダントを廃止)
	大師線、小泉線 (西小泉・東小泉～太田間) でワンマン運転開始
15. 3. 31	直営ゴルフ場 (宮の森カントリー倶楽部、星の宮カントリー倶楽部、東武藤が丘カントリー倶楽部) の営業を東武不動産(株)に譲渡
15. 5. 1	東武線全駅で終日全面禁煙を実施 (2007.3.18特急列車の全車両禁煙化)
15. 6. 1	「東武鉄道コンプライアンス・マニュアル」を作成
	施設・設備の維持補修及び保守業務を東武エンジニアリング(株)に委託
15. 6. 5	環境報告書 (現社会環境報告書) を発行開始
15. 8. 1	69駅における駅業務、構内営業等の業務を東武ステーションサービス(株)に委託 (2015.7.1全面委託)
15. 9. 30	貨物営業を全廃
2004 16. 4. 1	「グリーン購入ガイドライン」「情報セキュリティ基本方針」「危機管理規程」を制定
	南栗橋車両基地に工場棟が完成 保守業務を東武インターテック(株)に全面委託
16. 5. 1	団体割引の最少適用人員の引下げと特急料金の団体割引適用を開始
16. 8. 1	新桐生駅で当社初の「パーク・アンド・ライドサービス」を開始
16. 10. 19	亀戸線でワンマン運転開始
2005 17. 3. 1	「AIZUマウントエクスプレス号」が鬼怒川温泉～会津若松 (一部、喜多方) 間で直通運転を開始 (2012.3.17東武日光まで直通を開始)
17. 3. 17	東上線小川町～寄居間でワンマン運転開始
17. 5. 9	伊勢崎線・日光線・東上線に女性専用車両を導入 (野田線は2005.6.20)
17. 9. 16	南栗橋車両管理区 (現南栗橋車両管区) でISO14001の認証取得 (東武鉄道(株)・東武インターテック(株))
17. 9. 29	伊勢崎線第37号踏切を自動化 (東武線内の手動式踏切が全廃)
2006 18. 3. 14	IT事業部でISMSの認証取得
18. 3. 18	JR新宿～東武日光・鬼怒川温泉間で、JR東日本と特急列車の相互直通運転開始
18. 3. 18	東京メトロ半蔵門線、東急田園都市線との相互直通運転区間を久喜まで延長
	伊勢崎線・日光線等の列車種別の変更により有料急行を廃止 (特急に格上げ)
	伊勢崎線太田～伊勢崎間、佐野線、桐生線でワンマン運転開始
18. 3. 31	新タワー (東京スカイツリー®) の建設地が墨田・台東エリア (押上・業平橋地区) に決定
18. 4. 24	「東武鉄道お客さまセンター」を開設
18. 5. 17	東武グループ中期経営計画 (06～08年度) を策定
18. 8. 1	8月1日を「安全の日」に定める
18. 9. 28	小泉線 (館林～西小泉間) でワンマン運転を開始
18. 10. 1	安全管理規程を制定
18. 11. 1	主要6駅にAED (自動体外式除細動器) を設置 (2008.3.28委託駅・無人駅を除く172駅に設置完了 2020.10のみなみ寄居 (ホンダ寄居前) 駅に設置 計173駅)

■ 東武鉄道 (7)

年月日	事項
2007 平19. 3. 18	交通系ICカード「PASMO」のサービスを開始、「電子マネーサービス」を9駅189か所の店舗・自動販売機でスタート
19. 4. 3	ISO27001認証を取得
19. 5. 31	気象庁が配信する緊急地震速報を用いた「早期地震警報システム」を導入
19. 6. 25	安全報告書を発行開始
19. 6. 28	当社株式の大量買付行為に関する対応策（買収防衛策）を導入
19. 8. 1	遺失物検索システムを運用開始
19. 9. 20	川越駅ショッピングエリア「EQUiA（エキア）川越」オープン
19. 10. 1	鉄道事業部門に管区制を導入 鉄道乗務員養成所に訓練機能を向上した運転シミュレータを導入
19. 10. 31	栃木～東武宇都宮間（日光線・宇都宮線）でワンマン運転を開始
2008 20. 2. 14	ホームページ上での遅延証明書の発行サービスを開始
20. 6. 14	東上線、東京メトロ副都心線（森林公園～和光市～渋谷間）で相互直通運転を開始 座席定員制列車TJライナーを運転開始 越生線でワンマン運転開始
20. 7. 14	業平橋押上地区開発計画（新タワー計画）が着工
20. 10. 25	第1回“東武鉄道杯”東上沿線少年野球大会を開催（同サッカー大会は2009.2.21より開催）
20. 11. 11	携帯電話を利用した「特急券チケットレスサービス」と「東武携帯ネット会員」の会員募集を開始
2009 21. 2. 26	志木駅ショッピングエリア「EQUiA志木」がオープン
21. 3. 22	お子さま向けホームページ「TOBU BomBo Kids（と～ぶボンボキッズ）」を開設（2019.3.28TOBU Kids【と～ぶキッズ】に名称変更）
21. 4. 24	柏駅構内ショッピングエリアがオープン
21. 7. 22	東武博物館がリニューアルオープン
21. 9. 15	TJライナーチケットレスサービス開始 二次元コードを利用した着席整理券確認システムを導入
21. 9. 18	新本社ビル竣工（2009.11.2全組織の業務開始）
21. 9. 29	ふじみ野駅複合商業ビル「ふじみ野ナール」がオープン
21. 11. 20	野田線で運行管理システムを使用開始
21. 12. 15	大規模分譲マンション「リライズガーデン西新井」を竣工
2010 22. 3. 15	越生線 全線においてホーム検知装置の使用を開始
22. 3. 24	東武鉄道全線の全踏切に手動「押ボタン」を設置完了
22. 4. 28	朝霞駅ショッピングエリア「EQUiA朝霞」がオープン
2011 23. 3. 12	東上線で「二区間定期券」の発売を開始
2012 24. 2. 29	東京スカイツリータウン [®] が竣工
24. 3. 17	業平橋駅をとうきょうスカイツリー駅に改称（同.4.20リニューアルオープン） とうきょうスカイツリー駅に特急スペーシアほか特急列車が停車 伊勢崎線 浅草・押上～東武動物公園間に路線愛称名「東武スカイツリーライン」を導入
24. 3. 17	東武線全線を5つのエリアにわけ、駅ナンバリングを導入
24. 4. 20	とうきょうスカイツリー駅、浅草駅、池袋駅にステーションコンシェルジュを配置
24. 5. 18	浅草駅ビルリニューアル完成（竣工当時の外観を再現）
24. 5. 22	東京スカイツリータウン [®] 開業
24. 7. 24	回生電力を有効活用した「電力貯蔵装置」を導入（上福岡き電区分所）

■ 東武鉄道 (8)

年月日	事項
2012 平24. 10. 27	展望車両634型スカイツリートレインが就役
24. 11. 21	浅草駅ビルの商業施設「EKIMISE（エキミセ）」がグランドオープン
2013 25. 3. 16	とうきょうスカイツリー駅に停車する特急列車を大幅に拡大 東京メトロ日比谷線との直通区間を南栗橋まで延伸 伊勢崎線 館林～太田間の一部列車でワンマン運転開始（2020.6.6伊勢崎線 館林以北特急以外ワンマン運転開始） 東上線、東急東横線、横浜高速みなとみらい線（森林公園～和光市～渋谷～横浜～元町・中華街間）と相互直通運転を開始
25. 4. 24	松原団地（現獨協大学前〈草加松原〉）駅ショッピングエリア「EQUiA松原」がオープン
25. 6. 15	野田線に60000系通勤車が就役
2014 26. 3. 22	船橋駅で当初のホームドアを使用開始
26. 4. 1	野田線に路線愛称名「東武アーバンパークライン」を導入
26. 5. 1	東上線開業100周年、2種類のリバイバルカラー車両が連結した特別編成列車を運転
26. 6. 14	「ソライエ清水公園アーバンパークタウン」で街びらきフェスタを開催
26. 9. 17	東京スカイツリータウンの来場者が1億人を突破
26. 12. 11	「新越谷ヴァリエ」食品フロアを中心とした1階が全面リニューアルオープン
26. 12. 22	運河駅構内に回生電力貯蔵装置を導入（2017年2月に大宮公園駅構内に移設）
2015 27. 1. 31	東上線川越市～小川町間で、運転保安システムATCの使用を開始
27. 4. 18	日光東照宮四百年式年大祭記念、特急スペーシアの特別塗装列車「日光詣スペーシア」を運行開始（2015.7.18 2編成目運行開始、JR相互直通運転対応車両）
27. 5. 1	浅草駅等で「TOBU FREE Wi-Fi」の提供を開始
27. 11. 28	東武東上線全線開通90周年を記念し、行楽列車「フライング東上号」リバイバルカラー車両2編成を運行（2017.1「ブルーバード号」に変更、2019.6.30終了）
27. 12. 18	台湾鉄路管理局と友好鉄道協定を締結
2016 28. 3. 25	成増駅ショッピングエリア「EQUiA成増」がオープン
28. 3. 26	大宮～春日部間急行運転開始（2020.3.14全線で急行運転開始） 副都心線直通列車の東上線内急行列車Fライナー運行開始
28. 3. 28	上りTJライナーの運転開始
28. 4. 1	総合教育訓練センターを南栗橋に開設
28. 5. 24	池袋駅西口地下に「イケチカ ダイニング」がグランドオープン
28. 6. 17	台鉄自強号「普悠瑪」デザインのりょうもうが運行開始（2018.11.19終了）
28. 10. 3	台湾において金色の「日光詣スペーシア」デザインの台鉄自強号が運転開始
28. 10. 7	台湾台北市にインバウンド戦略部 台北支社を開設
2017 29. 3. 29	インバウンド向けウェブサイト「TOBU JAPAN TRIP」を開設
29. 4. 1	松原団地駅を「獨協大学前〈草加松原〉」に改称
29. 4. 1	曳舟駅直結ビルに「東京曳舟病院」が開院
29. 4. 7	曳舟駅ショッピングエリア「EQUiA曳舟」（第1期エリア）がオープン（2019.5グランドオープン）
29. 4. 21	500系「リバティ」が就役（特急リバティ会津として野岩鉄道・会津鉄道へ乗り入れ） 近距離区間の特急列車「スカイツリーライナー」、「アーバンパークライナー」を新設 特急りょうもうが全列車久喜駅に停車 浅草発着の快速・区間快速列車の運行を廃止し、南栗橋～東武日光（一部新藤原）間に急行・区間急行を新設

■ 東武鉄道 (9)

年月日	事項
2017 平29. 4. 21	全特急列車のとうきょうスカイツリー駅停車
29. 6. 30	志木駅東口駅ビル「st.トスカ」を「EQUiA志木」に統合しグランドオープン
29. 7. 7	日比谷線直通用70000系通勤車が就役
29. 7. 22	東武ワールドスクウェア駅を開業
29. 8. 10	鬼怒川線下今市～鬼怒川温泉間においてSL大樹運転開始
29. 10. 8	東京スカイツリータウン入場2億人を突破
29. 12. 14	北千住駅ショッピングエリア「EQUiA北千住」がグランドオープン
2018 30. 3. 29	スマートフォンアプリ「東武線アプリ」の提供を開始
30. 6. 13	特急券インターネット購入・予約サービスの提供を開始
30. 9. 3	20400系通勤車が就役
30. 11. 14	大手私鉄初、蒸気機関車の復元作業開始（2022.7.18復元が完了し営業運転を開始。SL3両体制となる）
2019 31. 3. 16	東上線に川越特急を新設
令1. 9. 1	TJライナー座席指定化
1. 11. 29	子育てサポート付き社宅「kanowa（カノワ）東武動物公園」を開設
2020 2. 3. 17	ときわ台駅北口に「EQUiAときわ台」がグランドオープン
2. 3. 26	二社一寺の西参道において「西参道茶屋」がオープン
2. 6. 6	和光市駅直結の複合商業施設「EQUiA PREMIE 和光」をグランドオープン
2. 6. 18	東武線・日比谷線相互直通の座席指定列車「THライナー」を運行開始
2. 7. 15	浅草～東京スカイツリータウン間に「東京ミズマチ [®] 」が開業
2. 7. 15	東京スカイツリー・浅草連絡歩道橋「すみだりバーウォーク [®] 」が開通
2. 7. 15	「ザ・リッツ・カールトン日光」が開業
2. 10. 3	SL大樹「ふたら」運転開始（2021.10.16定期運行開始）
2. 10. 31	みなみ寄居（ホンダ寄居前）駅を開業
2. 11. 1	東武グループ共通ポイント「TOBU POINT」サービス開始
2021 3. 6. 5	特急スペーシア デビュー当時のリバイバルカラー車両運行開始
3. 7. 1	賃貸マンション・サービス付き高齢者向け住宅・クリニック等一体の複合施設「岩槻駅前ビル」開業
3. 8. 2	社会貢献・地域活性化を目的とした特定の企業・団体向け有料手回り品料金制度を導入（同制度を活用したフードロス削減の取り組みTABETEレスキュー運用を開始）
3. 8. 7	1800系カラーリング200型「りょうもう」運転開始
3. 9. 1	東武鉄道公式ファンクラブを開設
3. 9. 16	東武動物公園駅西口の商業施設がオープン
3. 10. 1	TOBU POINTの新サービス「トブポマイル」のサービスを開始
3. 10. 26	東京スカイツリータウン入場3億人を突破
3. 10. 28	国内初の環境配慮型・観光MaaS「NIKKO MaaS」のサービスを開始
3. 11. 4	SL大樹の客車として12系「展望車」を2両（ぶどう色・青色）導入
3. 11. 11	スタートアップ企業との協業・共創プログラム「TOBU Open Innovation Program」の募集を開始
3. 12. 4	1720系デラックスロマンスカーをイメージした100系「デラックスロマンスカーカラー」スペーシアの運行を開始
2022 4. 3. 9	「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」に認定
4. 3. 12	日光線・鬼怒川線で特急・SL以外ワンマン運転開始

■ 東武鉄道 (10)

年月日	事項
2022 令4. 3. 20	東武スカイツリーライン竹ノ塚駅付近（西新井～谷塚間）上下緩行線高架区間の使用を開始
4. 4. 1	日光・鬼怒川エリアで実質再生可能エネルギー100%の電車運行をスタート
4. 4. 4	東京証券取引所の市場区分の見直しにより市場第一部からプライム市場へ移行
4. 4. 28	小児通学定期券のポイントバックによる実質無料化を開始
4. 5. 26	「BRIDGE LIFE Platform 南栗橋」街びらき
4. 6. 2	グリーンプロジェクトの資金調達のため当社初の「グリーンボンド」を発行
4. 11. 18	新柏駅高架下に「EQUiA新柏」がグランドオープン
4. 11. 27	東武スカイツリーラインとうきょうスカイツリー付近（とうきょうスカイツリー～曳舟駅間）上り線の高架区間の使用を開始
2023 5. 3. 18	東上線、東急新横浜線、相鉄線（小川町～和光市～渋谷～日吉～新横浜～海老名、湘南台間）と直通運転を開始
5. 3. 30	南栗橋駅への特急停車開始（朝の上り3本、夕夜間の下り6本）
5. 7. 15	獨協大学前エリアに商業施設「TOBU icourt/トープイコート」がオープン
5. 8. 29	N100系「スペーシア X」が就役
5. 8. 29	日立製作所と生体認証を活用したデジタルアイデンティティの共通プラットフォーム立ち上げに合意
5. 9. 21	谷塚駅高架下に「EQUiA谷塚」がオープン
5. 10. 26	草加駅直結の商業施設「草加ヴァリエ」VARIE1の第I期エリアがリニューアルオープン（2025年にリニューアルグランドオープン予定）
5. 12. 7	越谷駅高架下に「EQUiA越谷」がグランドオープン
2024 6. 1. 31	SLにバイオ燃料（バイオコークス）を使用する実証実験を開始
6. 3. 1	SL大樹の乗車人員が50万人を突破
6. 3. 16	スペーシア Xを新たに2編成導入、全4編成とし、毎日6往復の運転開始
6. 4. 26	新越谷駅直結の商業施設「新越谷ヴァリエ」2階・3階の第I期エリアがリニューアルオープン
6. 5. 23	N100系スペーシア Xが鉄道友の会「2024年ブルーリボン賞」を受賞 竹ノ塚駅高架下に「EQUiA竹ノ塚」がグランドオープン

■ グループ会社 (1)

年月日	事項
1958 昭33. 6. 2	東武宇都宮百貨店設立 (登記) (1959.11.28オープン)
33. 7. 15	榛名山ロープウェイ営業開始 (1979.10群馬県観光より東武興業が営業譲受)
1959 34. 6. 1	東武スーパーマーケット霞ヶ丘店オープン (東武興業経営/東武ストア第1号店)
34. 9. 1	伊香保カントリークラブオープン (会社設立は1958.7.1)
34. 10. 15	東武興業が鬼怒川丸山ロープウェイ営業開始 (2000.12.25鬼怒川観光開発へ譲渡)
34. 12. 25	全日本観光をグループ指定 (1971.4.1東武トラベルに社名変更) (1971.8.1東武トラベルと東武鉄道観光が合併 [社名: 東武トラベル]) (2002.12.31東武美術館に営業譲渡し解散)
1960 35. 1. 20	東武興業が中禅寺温泉ロープウェイ営業開始 (2003.8.25廃止)
35. 1. 26	東武ビー・エス・コンクリート工業設立 (1961.2.1操業開始) (1964.10.1東武砂利が東武ビー・エス・コンクリート工業と合併) (1964.12.1東武開発に社名変更)
35. 9. 1	東武百貨店設立登記
35. 12. 10	東武会館設立登記 (1968.4.19東武ストアに社名変更)
35. 12. 12	谷川岳ロープウェイ営業開始 (2022.2.28グループ指定解除)
1961 36. 6. 26	中禅寺湖畔ユースバレス落成
36. 8. 23	蔵王ロープウェイ設立 (1962.10.1営業開始)
36. 10. 3	東武ガス設立 (1962.4.21営業開始)
36. 10. 4	金谷貨物自動車営業をグループ指定 (1964.4.1合併に伴いグループ指定解除)
36. 12. 1	朝霞パブリックゴルフ場オープン
1962 37. 1. 23	東武石油販売設立 (1963.2.6東武百貨店に合併)
37. 5. 29	池袋東武百貨店オープン
37. 6. 1	栃木生コン設立 (1963.7.9生産開始) (2002.3.1東武建設に合併)
37. 6. 12	東北急行バス設立 (1962.8.1営業開始)
37. 10. 16	東武興業が大和町自動車学校事業を継承
1963 38. 1. 19	松島観光開発の経営に参加 (2001.8.31解散)
38. 1. 25	東野鉄道に資本参加 (1969.5.30東野交通に社名変更) (2016.12.1みちのりホールディングスへ譲渡)
38. 4. 1	分福ヘルスセンター、新館完成 (収容人員7,000人となる) (1985.4.19「野鳥の森とへぶ」と改称し、オープン) (2006.4.1館林野鳥の森フラワーガーデンと改称し、オープン) (2012.3.31「ザ・トレジャーガーデン館林」と改称し、オープン) (2021.6.14営業終了)
38. 4. 20	会津合同貨物自動車をグループ指定
38. 10. 16	東武興業が東武かすみ自動車教習所開業 (1963.11.3公安委員会指定)
38. 12. 8	蔵王ロープウェイ全線開通
1964 39. 2. 1	群馬観光開発設立 (赤城山総合開発が群馬観光開発を合併)
39. 4. 1	東武急行運輸設立 (金谷貨物自動車・北毛自動車運送・岡崎陸運の3社が合併)
39. 6. 1	東横百貨店池袋店の営業権を東武百貨店が譲受 (正式調印)
39. 9. 1	東武興業が越谷に自動車教習所 (現東武こしがや自動車教習所) 開業
39. 10. 6	東京駅八重洲口に東武観光センター開業
1966 41. 8. 1	川越観光自動車設立 (1966.11.1営業開始)
41. 8. 26	万和産業設立 (2000.8.31飲食事業を東武食品サービス、その他の事業を東武ランドシステムへ営業譲渡し解散)
41. 9. 1	中禅寺湖レックサイドホテル発足 (1968.7日光レックサイドホテルに改称) (2016.1.3営業終了)
1967 42. 9. 1	東武テレガイドサービス誕生 (2006.4.24営業終了)

■ グループ会社 (2)

年月日	事項
1967 昭42. 11. 6	赤城登山鉄道利平茶屋～赤城山頂間 (赤城山ケーブルカー) 営業停止 (1968.5.31廃止)
1968 43. 3. 1	松島湾汽船と松島観光汽船の2社を合併し、松島湾観光汽船を設立 (2004.12.31松島ベイクルーズに営業譲渡、解散) (2010.10.22松島ベイクルーズグループ指定解除)
43. 6. 1	赤城登山鉄道が赤城山ロープウェイに社名変更 (1979.10.1東武興業に営業譲渡) (2000.11.30谷川岳ロープウェイへ営業譲渡) (2003.4.1廃止)
43. 8. 1	赤城旅館改装工事終了「ホテル赤城」と改称し、オープン (1977.12.1東武興業に営業譲渡) (1993.3.31廃業)
43. 10. 20	東武カントリークラブおもちゃのまちパブリックコースオープン
43. 11. 1	中央商工が東武不動産に社名変更 (1993.2.1東武不動産と東武百貨店が合併 [社名: 東武百貨店])
1969 44. 4. 2	東武ホープセンター、東武地下駐車場オープン (池袋西口駐車場経営)
44. 5. 13	東武ビル管理 (現東武ビルマネジメント) 発足
44. 10. 1	東武興業が湯元ロッヂをオープン
1970 45. 12. 25	林友観光が蔵王アストリアホテルオープン
1971 46. 4. 30	ニッポンレンタカー東武設立 (1971.7.5営業開始) (2014.10.31全株式をニッポンレンタカーサービスへ売却)
46. 8. 25	東武配送サービス設立 (2008.5.14解散)
46. 11. 11	東武百貨店新館オープン、シンボルフリーズ「ぶらんで〜と」及びレターマークを新たに制定、下板橋総合商品センター完成 当社、東武ガス、東武プロパン3社共同出資で「吉川ガス」設立 (1973.3.13営業開始)
1973 48. 2. 1	東武林業建設が東武建設に社名変更
48. 3. 1	東武宇都宮百貨店全館完成、レジャーランド、ホテルオープン (1972.11.2百貨店増築オープン) (ホテルは1990.6.1東武イン宇都宮に名称変更 [1993.5.30閉鎖])
48. 3. 31	東武整備社設立 (1973.4.1営業開始) (1988.6.1東武整備に社名変更) (1988.9.1グループ指定) (2003.10.1東武ビル管理と東武整備が合併 [社名: 東武ビル管理]) (2006.4.1東武ビルマネジメントに社名変更)
48. 10. 4	東武ダイヤルバス設立 (1974.4.10営業開始) (2008.4.1日光交通と合併 [社名: 日光交通])
1974 49. 11. 27	船橋東武設立 (1977.10.7船橋東武百貨店オープン) (1988.9.1船橋東武と東武百貨店が合併 [社名: 東武百貨店])
1975 50. 1. 18	福山東武ホテルオープン (1997.3廃止)
50. 4. 3	桐生カントリークラブオープン
50. 6. 1	東武トラック事業団5社の社名変更 (東武急行運輸→東武運輸、東武常磐運輸→東武運輸常磐、東武運輸→東武運輸栃木、十日町運送→東武運輸新潟、会津合同貨物自動車→東武運輸会津) (東武運輸会津は1999.3.31解散) (2004.9.29東武運輸栃木と東武運輸新潟の保有株式85%をPZ運輸に売却)
50. 7. 11	関東ガスをグループ指定
50. 8. 1	東武運輸東京設立 (1984グループ指定解除)
50. 11. 13	渋谷東武ホテルオープン
1976 51. 4. 2	亀戸ステーションビルの創立総会開催 (1984グループ指定) (1993グループ指定解除)
1977 52. 2. 1	高崎市に東武運輸総合ターミナル完成
52. 3. 10	共助商事設立 (1977.4.1営業開始) (1979.6.15東武商事に社名変更)
52. 4. 1	東武運輸と東武運通が合併 (社名: 東武運輸)
52. 10. 6	城山カントリー倶楽部オープン (2009.5.29シアー・エスに経営を移管)

■ グループ会社 (3)

年月日	事項
1978 昭53. 8. 28	東武食品サービス設立
1979 54. 1. 24	日光観光ハイヤー設立 (1997日光観光ハイヤーと日光交通が合併 [社名:日光交通])
54. 9. 26	東武ストアが東武グループ初の東京証券取引所市場第2部上場 (1988.8.1東京証券取引所市場第1部に上場) (2018.10.22東武鉄道の完全子会社化に伴い上場廃止)
1981 56. 9. 1	富士空輸が東武航空貨物に社名変更
1982 57. 7. 1	東武フォトサービス設立 (1982.8.1営業開始) (2004.7.31解散)
57. 7. 2	神奈川東武デリバリー設立
57. 7. 29	東武デリバリー設立 (1999.2.1神奈川東武デリバリーと合併 [社名:東武デリバリー]) (2017.7.1警備輸送事業をデリバリーサービスに承継) (2017.7.3全株式を総合警備保障に譲渡)
57. 8. 25	銀座むらき第1号店オープン (1998銀座むらきと会津高原ホテルが合併 [社名:銀座むらき]) (2006.3.31解散)
57. 12. 18	会津アストリアホテルオープン (経営は会津高原観光開発 [1986グループ指定]) (2002.3.31会津高原夢開発へ営業譲渡し2002.6.30に会津高原観光開発を解散)
1983 58. 4. 11	松島にホテル壯観オープン (2007.1解散)
58. 9. 23	上尾東武ホテル、上尾東武サロンオープン (東武食品サービス運営)
58. 12. 22	東武ケーブルメディア設立 (2002.7東武コミュニケーションズに社名変更) (2008.3解散)
1984 59. 3. 19	三国観光開発が東武保険サービスに社名変更
59. 8. 1	東武スポーツ設立 (東武スポーツと東武ゴルフが合併)
59. 8. 3	西池袋熱供給設立
59. 11. 3	土浦東武ホテルオープン (2000.6.30営業終了)
1986 61. 6. 1	ダイヤモンド造園技研が東武緑地建設に改称
1987 62. 2. 4	川越東武ホテルオープン (2020.3.31営業終了) (2020.6.29川越駅西口に移転)
62. 7. 21	会津田島リゾート開発設立 (2002.3解散)
62. 8. 20	ホリデイ・イン東武成田オープン (2011.1.1「成田東武ホテルエアポート」に名称変更)
62. 12. 27	東武興業が光徳温泉に「日光アストリアホテル」をオープン
1988 63. 3. 18	東武不動産が江東区に「東武有明インドア・テニス・スパジオ」をオープン (1996.3閉鎖)
63. 4. 18	志木ケーブルメディア設立 (1989.6.2都市型CATVを開局) (1995.10.1「東上ケーブルテレビ」に社名変更) (2004.12.16グループ指定解除)
63. 5. 10	蔵王リゾート設立 (第3セクター方式)
63. 7. 15	東武不動産の複合レジャー施設「MZA有明」完成 (2000.12廃止)
63. 10. 31	「ユーアイネット埼玉」に参加 (1989.4.1第3セクター方式にて開業)
1989 平1. 1. 11	東武ランドシステム設立
1. 2. 7	東武トレーディング設立 (2001.1.1東武ランドシステムと合併 [社名:東武ランドシステム]) (2003.12.31カジュアルショップに営業譲渡し解散) (2004.1.1カジュアルショップが「東武ランドシステム」に社名変更) (2010.1.1東武エナジーサポートに社名変更)
1. 6. 13	日光リゾート開発設立 (霧降高原地区の開発を目的とした第三セクター方式) (1998.9解散)
1990 2. 3. 1	東武百貨店・東武宇都宮百貨店がCIを導入
2. 9. 20	東武食品サービスがJR王子駅前の「北とびあ」内に王子東武サロンをオープン (2021.3.16営業終了)
2. 10. 13	下仁田カントリークラブオープン

■ グループ会社 (4)

年月日	事項
1991 平3. 4. 1	東日本航空がCI導入で東武計画に社名変更
3. 7. 17	日光自然博物館オープン
3. 7. 23	宇都宮東武ホテルグランドオープン
3. 8. 26	当社と東武百貨店が東武美術館を設立 (1992.6.10オープン 2001.3.4閉鎖)
3. 9. 1	東武ゴルフが受託運営する渡良瀬カントリークラブをオープン
3. 10. 2	浦和東武ホテルオープン (2003.4.1浦和東武ホテルから東武鉄道に事業譲渡、2008.6.30営業終了)
3. 10. 31	東武百貨店が宝飾・時計、高級雑貨専門会社「ガンブス・インターナショナル」設立 (2017.2.28解散)
1992 4. 6. 10	東武百貨店が日本一の売場面積 (8万2963㎡) でグランドオープン
4. 6. 15	高輪東武ホテルリニューアルオープン (現「品川東武ホテル」)
4. 6. 18	会津高原ホテルが、会員制リゾートホテルとしてリニューアルオープン
4. 6. 25	星の宮カントリー倶楽部オープン
1993 5. 1. 1	関東ガスが東武ガス、吉川ガス、東武液化ガスを合併 (社名:東武ガス)
5. 7. 24	会津高原たかつねカントリークラブオープン (2002.6解散)
5. 7. 25	東武ランドシステムが北海道でユニ東武ゴルフクラブをオープン
5. 12. 1	館林観光開発が東武プライダルに社名変更 (2008.9解散)
1994 6. 4. 26	札幌東武ホテルオープン (2020.4.26「フェアフィールド・バイ・マリオット札幌」としてリブランドオープン)
6. 10. 1	東武配送サービスが下板橋駅構内に配送センターをオープン
1995 7. 10. 1	東武宇都宮百貨店が北関東以北最大の百貨店としてグランドオープン
1996 8. 9. 7	東武食品サービスが野田東武ホテルをオープン (現「ビジネスホテル野田」2022.3.1売却)
1997 9. 3. 1	伊勢崎線小菅～五反野間高架下に東武デリバリー五反野事業所完成
9. 4. 1	東武商事が東武エージェンシーと合併 (社名:東武商事)
9. 10. 1	東武住宅販売が東武不動産に社名変更 (2010.1.1東武ランドシステムに社名変更)
1998 10. 1. 16	東武ファイナンスマネジメント設立 (2006.3.1東武シェアードサービスに社名変更)
10. 7. 28	東武食品サービスが東武スバリゾート「野田潮の湯」オープン (現「のだ温泉ほのか」2022.3.1売却)
10. 8. 1	東武デリバリーが東武新座物流センターをオープン
1999 11. 10. 13	東武セレモニーが埼玉県宮代町に「東武レクイエム聖殿春日部」をオープン (2019.6.28東武セレモニーをグループ指定解除)
2000 12. 2. 18	東武食品サービスがスーパー銭湯「湯屋処まつばら」をオープン
12. 4. 13	東武運輸が東武南栃木物流センターを完成、営業開始
2001 13. 6. 2	東武ランドシステムが出資するゆにガーデンが「ゆにガーデン」をオープン (東武緑地が運営)
13. 6. 5	東武カードビジネス設立
13. 7. 20	東武興業並びに奥日光開発が「船の駅 中禅寺」をオープン
2002 14. 1. 1	東武運輸が本社を宮代町に移転
14. 2. 1	東武運輸・東運・東武物流サービス・富士通運の4社が合併 (社名:東武運輸)
14. 3. 1	東武建設・東武電設工業・栃木生コンの3社が合併 (社名:東武建設)
14. 9. 6	東武宇都宮百貨店大田原店オープン
14. 9. 18	東武コミュニケーションズが第一種通信事業者免許を取得
14. 10. 1	東武バスが東武鉄道バス事業本部の廃止に伴い新会社として営業開始

■ グループ会社 (5)

年月日	事項
2003 平15. 1. 29	東武ストアが丸紅、マルエツと資本・業務提携
15. 2. 20	東武インターテック設立 東武エンジニアリング設立
15. 6. 16	東武運輸が東武埼玉東物流センターを完成、営業開始
15. 8. 1	東武ステーションサービス設立
15. 10. 16	東武百貨店船橋店が全館リニューアルオープン
15. 12. 6	蔵王ロープウェイが山頂線を架け替えリニューアル
15. 12. 18	東北急行バスが東武グループ初の関西圏への高速バスとして、東京駅～大阪あべの橋間での運行を開始
15. 12. 25	トウドラッグがマツモトキヨシと資本・業務提携(2011.7.29グループ指定解除)
2004 16. 1. 1	国際ハイヤーと十王自動車が合併(社名:国際十王交通)
16. 2. 26	東武百貨店・東武宇都宮百貨店がICクレジットカード対応POSシステムを導入
16. 9. 2	東武カードビジネスが「東武グループポイントサービス」を開始
16. 11. 16	東武スポーツが新ブランド「東武スポーツクラブ プレオン北越谷」をオープン
2006 18. 5. 1	新東京タワーを設立(2008.6.10東武タワースカイツリーに社名変更)
18. 6. 22	東武ステーションサービスが第2種旅行業免許を取得
18. 9. 20	東武エネルギーマネジメントを設立
18. 12. 16	東武スポーツが新ブランド「東武スポーツクラブ リ・プレオン新越谷」をオープン(2021.5.31営業終了)
2007 19. 1. 30	シンフォニア東武を設立(2007.11.26特例子会社の認定を取得)
19. 8. 3	東武フードシステムを設立
19. 10. 25	東武ビジネスソリューションを設立
2008 20. 3. 15	東武カードビジネスが「東武カードPASMO」を発行開始
20. 6. 10	新タワーの名称を全国投票により「東京スカイツリー®」に決定
2009 21. 2. 17	東武エネルギーマネジメントが「東京スカイツリー地区」における熱供給事業化にあたり、経済産業大臣より、熱供給事業法に基づく事業許可を取得
21. 3. 1	東武ホテルマネジメントが「宇都宮東武ホテル」を全館リニューアルオープン
21. 4. 1	東武スポーツが「プレオン」ブランドで東上沿線初となる「東武スポーツクラブ プレオンふじみ野」をオープン
21. 10. 16	東武プロパティーズを設立(2018.2.1東武不動産に社名変更)
21. 10. 16	東武タワースカイツリーが「東京スカイツリー®」の完成時高さを634mに変更しライティングデザインを発表
2010 22. 2. 1	蔵王リゾートと林友観光が蔵王ロープウェイと合併(社名:蔵王ロープウェイ)
22. 3. 15	東北急行バスが東京～岡山・倉敷「ままかりライナー」の運行を開始
22. 3. 29	建設中の「東京スカイツリー」が高さ338mとなり東京タワーの高さを超えて日本で一番高い建造物になる
22. 4. 24	東武ワールドスクウェアが1/25スケールの「東京スカイツリー」と周辺複合施設を建造し展示
22. 9. 29	東武タウンソラマチを設立(2011.1.1グループ指定)
22. 10. 28	東武スカイツリー公式キャラクター「ソラカラちゃん®」を発表
2011 23. 3. 1	「東京スカイツリー」が高さ604mとなり自立式電波塔として世界一の高さになる
23. 3. 18	「東京スカイツリー」が最高高さ634mに到達
23. 6. 1	サンライフ・キャリアサービスが東武キャリアサービスに社名変更
23. 9. 15	東武カードビジネスが「東京スカイツリー®東武カードPASMO」を発行開始

■ グループ会社 (6)

年月日	事項
2011 平23. 11. 17	東京スカイツリーが「世界一の高さのタワー」としてギネス世界記録TMに認定
2012 24. 3. 8	東武エネルギーマネジメント及び東武鉄道が大規模災害時の大容量水蓄熱槽・保有水提供に関する協定を墨田区と締結
24. 5. 1	富士通運が群馬ロジテムを合併(社名:群馬ロジテム) 嶋久運輸が千葉ロジテムに社名変更 2015.7.1群馬ロジテムが千葉ロジテムを合併(社名:群馬ロジテム)
24. 5. 22	東京スカイツリー開業 東武バスセントラルがスカイツリーシャトル®4路線運行開始(東京駅・羽田空港・東京ディズニーリゾート®を結ぶ3路線の新設、上野・浅草線は本運行開始) 東武百貨店東京ソラマチ®店がオープン(2016.1.31営業終了) 東武ホテルマネジメントが東京スカイツリー内に「スカイレ스토랑634」をオープン 東武百貨店池袋店が低層階等をリニューアル
24. 9. 6	東武百貨店池袋店が「TOBUビューティーテラス」をオープン
24. 12. 1	東武バスウエストがスカイツリーシャトル和光・志木線運行開始
24. 12. 20	東武ワールドスクウェアが開園20周年を記念して「故宮(中国)」をリニューアルオープン
2013 25. 4. 24	東武宇都宮百貨店宇都宮店がレストラン街「スパイス」をリニューアルオープン 東武運輸が三郷物流支店を完成、営業開始
25. 6. 1	東武エネルギーマネジメントが葛生駅南側土地において初の大規模太陽光発電所(メガソーラー)で発電を開始
25. 7. 26	東武エネルギーマネジメントが葛生駅南側土地において初の大規模太陽光発電所(メガソーラー)で発電を開始
25. 8. 30	トップツアー、ティラミスホールディングス、トップ・スタッフ、トップツアーヨーロッパLTD、ティーティーエー、INC.をグループ指定
25. 12. 3	東武百貨店船橋店がレストラン街「スパイス」をリニューアルオープン
2014 26. 3. 16	東武宇都宮百貨店栃木店が、栃木市役所新庁舎1階にオープン(2015.3.19「栃木市役所店」に店名変更)
26. 10. 17	東北急行バス「きまっし号」東京～金沢線運行開始
2015 27. 3. 1	東武運輸が厚木物流支店を完成、営業開始
27. 4. 1	トップツアーが東武トラベルを合併(社名:東武トップツアーズ) 蔵王ロープウェイが、山形県内初となる「恋人の聖地サテライト」に選定される
27. 4. 24	東武ワールドスクウェアが開園22周年を記念して「高雄龍虎塔」をリニューアルオープン
27. 7. 21	東武バスセントラル、東武バスウエストが「スカイツリーシャトル®」お台場線運行開始
27. 12. 1	ニッテイ事業社がフルール・ド・パリを合併(社名:ニッテイ事業社)(2017.3.1東武百貨店がニッテイ事業社を合併【社名:東武百貨店】)
2016 28. 2. 26	東武百貨店池袋店がレストラン街「スパイス」をリニューアルオープン
28. 4. 1	東武ホテルマネジメントが「高輪東武ホテル」の名称を「品川東武ホテル」に変更(2016.8.1リニューアルオープン) 東武建設栃木生コン事業本部の営業を東武栃木生コンへ新設分割 東武ビルマネジメントが池袋東武ホープセンターを東武百貨店へ事業譲渡
28. 6. 1	東武スポーツが「TOBUフィットネスパーク ネオス鎌ヶ谷」をオープン(2022.1.31営業終了)
28. 9. 1	東武宇都宮百貨店宇都宮店がリニューアルオープン
28. 9. 30	金谷ホテルをグループ指定
2017 29. 3. 1	東武ストアが東武フーズを合併(社名:東武ストア)

■ グループ会社（7）

年 月 日	事 項
2017 平29. 4. 1	東武建設が東武イマリンを合併（社名：東武建設）
29. 7. 1	東武スポーツが「TOBUフィットネスクラブ ネオス春日部いちのわり」をオープン
29. 9. 23	東武レジャー企画が東武動物公園に雨天対応型大型イベントステージ「東武動物公園 HOLA!（オーラ）」をオープン
29. 10. 1	東武デリバリーが新倉庫「浦和アーカイブセンター」での本社営業を開始
2018 30. 1. 25	東武ボックスの全株式を日本出版販売に譲渡
30. 4. 21	東武ワールドスクウェアが「富貴角燈台」をオープン
30. 7. 2	東武スポーツが「TOBUフィットネスクラブ ネオス東鷲宮」をオープン（2024.7.31営業終了） 東武運輸が「東武太田物流センター」を開設
30. 10. 16	関越交通が「客貨混載」を開始 ※ヤマト運輸と連携
30. 10. 31	東武カルチュア解散
30. 11. 1	東武百貨店池袋店の新食品館「eatobu」が完成
2019 31. 1. 1	東武シェアードサービスが東武土地建物を合併（社名：東武シェアードサービス）
31. 3. 31	ティー・アンド・シー解散
31. 4. 1	レーキサイドホテルシステムズ設立
令1. 5. 31	東武ストアが「TOBU store Fresh & Quick 曳舟店」をオープン
1. 7. 20	東武ワールドスクウェアが「ワット・アルン」をオープン
2020 2. 6. 11	和光市東武ホテルをオープン
2. 7. 9	ACホテル・バイ・マリオット東京銀座をオープン
2021 3. 3. 31	東武ランドシステムが「ユニの湯」を東武緑地へ事業譲渡
3. 4. 24	東武ワールドスクウェアが「首里城」をオープン
3. 10. 1	東武バスセントラルが東武バスイーストを合併（社名：東武バスセントラル）
2022 4. 3. 31	東武保険サービスが東栄産業の事業を譲受 コム・イースト解散
4. 4. 1	東武食品サービスが東武フードシステムに一部事業を分割 東武エナジーサポートが東武商事・東武ランドシステム・東武食品サービスを合併（社名：東武商事） 東武フードシステムが東武食品サービスに社名変更 東武ビルマネジメントが東武セキュリティを合併（社名：東武ビルマネジメント） 日本パーキングビルサービスが総合パーキングサービス・宇都宮パーキングサービスを合併（社名：日本パーキングビルサービス）
4. 4. 28	東武デリバリーが宅配型保管サービス「My storage」を開始
4. 4. 30	東栄産業解散
4. 12. 31	東武ホテル北海道解散
2023 5. 3. 18	東武レジャー企画が東武動物公園の水上木製コースター「レジーナ」を「レジーナII（ドゥーエ）」としてリニューアルオープン 東武鉄道が東武グループのショッピングサイト「TOBU MALL」をオープン
5. 3. 27	ティラミスホールディングス解散
5. 3. 31	金谷ホテルが日光金谷ホテル別館を「別館 ROYAL HOUSE」としてリニューアルオープン
5. 7. 15	
5. 11. 1	コートヤード・マリオット銀座東武ホテルがリニューアルオープン